

子ども NPO センター福岡 事務局職員を募集します

福岡では、人権・子どもの権利を基盤に据えた数多くの NPO が、子どもの課題に取り組んでいます。子ども NPO センター福岡はそのネットワークのセンターとして日々様々な人と出会い交流し、市民一人ひとりの学びと成長の場を創出しています。

子どもの声を聴き社会に届ける「子どもアドボカシー」の理念を実現するために地域としていち早く取り組んでおり、行政との協働を見据えたその動きは全国的に注目されています。

全ての子どもが尊重される社会のために、一緒に歩んでいきませんか。

【雇用形態】

フルタイム正職員（所定労働時間：1日8時間・休憩1時間／週5日勤務）

○コアタイムは9時半～17時。出勤・退勤時間は生活状況に合わせて設定可能です。

○会議などによる夜間・時間外出勤があります。

○土日祝日の出勤があります。その場合は、振替で平日に休暇を取得頂きます。

【給与】

基本給 月 180,000 円（当法人規定による）

○社会保険・雇用保険にご加入いただきます。

○年次有給休暇が付与されます。

○別途通勤手当（公共交通機関による実費）を支給します。

○事業対応により、加算される手当があります。

【勤務開始時期】

2020年4月

2020年2月～3月にかけて研修期間とし、4月からのフルタイム勤務に備えたOJT、業務の引継ぎを行います。頻度や時間帯などは、相談しながら決めます。

※この期間は、研修期間の時給が適用されます。

【主な業務内容】

- ・団体運営に必要な業務全般（連絡/調整/問合せ対応など）
- ・各種イベント企画・運営
- ・会員対応（メルマガ・ジャーナル作成・送付、会費の管理）
- ・広報活動（HPやSNSなどでの発信、イベント時のアナウンス）
- ・事業活動の統括・サポート（子どもの居場所運営や託児、送迎など）
- ・研修や会議でのファシリテーション・記録作成
- ・予算管理 など

【即戦力として必要な能力】

○必須

- ・ワード、エクセル、パワーポイントなどを使用して文書を作成・校正できること
- ・メール・電話対応・名刺交換などにおける一般的なビジネスマナー
- ・幅広い年代や属性の人とコミュニケーションできる傾聴力・自己表現力

(アサーティブネス)

- ・子どもの権利に関する基本的知識・理解

○あると望ましいもの

- ・普通自動車免許（イベント時の荷運び等で必要）
- ・チラシなど広報物の制作経験や、イラストがかけるなどの特技（WEB サイトやチラシでの発信において必要）
- ・児童や福祉に関する資格
- ・経理・会計事務に関する資格、経験
- ・ファンドレイジングに関する資格や知識、経験
- ・イベントの企画・運営経験

【将来的に身に付けて頂きたい能力・知識・マインド】

- ・組織マネジメント力（理事会等の組織と意思疎通しながら全体最適化を図る力）
- ・ファシリテーション力（参加者の思いや能力を引き出し、まとめ、結論に導く力）
- ・ファンドレイジングに関する知識や経験
- ・優れた人権感覚

【応募方法】

下記事務所へメールまたは電話で連絡の上で、応募書類をご送付下さい。

応募書類：履歴書・職務経歴書・応募動機書

応募×切：2019年12月25日(水)当日消印有効

書類選考通過の方に、面接の連絡をさせていただきます。

提出された履歴書、職務経歴書、応募動機書等は返却しませんのでご了承下さい。

特定非営利活動法人 子ども NPO センター福岡 事務局長 牛島恭子

〒810-0023 福岡市中央区警固1丁目15-34 警固セントラルビル 401号

TEL:092-716-5095 email:info@npoccf.jp

HP: <https://npoccf.jp>

【選考スケジュール】

第一次選考（書類）：2020年1月初旬～中旬

※ご応募いただいた方には1月15日までに結果をご連絡いたします。

第二次選考（面接）：2020年1月中旬～下旬

【事務局職員として大切にしたいこと】

○自分の整え方を知っている

相手だけでなく、自分のことも尊重できることが大切です。きつい状況、大変な状況になったとき、自分が我慢すれば、自分が頑張ればと思うのではなく、今の当たり前を疑ってみる。ここをこんな風に変えていけないか、と周りに提案してみる。自分に心地よいあり方、自分の「整え方」を知っていることが大切です。

○子どもと「ともに」ある

子どもや被支援者とされる人とのかかわりの中で、相手を無理やり引っ張りあげようと、無理な体勢になっていないか？相手の望んでいないことを押し付けていないか？を常に自問自答します。このようなことはどの現場でも簡単に起こりますし、誰もが陥りがちなことです。対等な一人と一人として向き合ったときに、どのような距離感であれば、相手と自分を尊重しながら助け合えるでしょうか。誰かの「ために」ではなく、「ともに」ある姿勢を大切にしています。

○「違っていること」を恐れない

多様な人たちが集まることが、しなやかな強さを生みます。たとえあなたが自分では恥ずかしく直したいなあ…と思っている特性でも、他の人からすれば得がたい能力・魅力かもしれませぬ。多様な意見が交わされる中で当然摩擦は起きますが、そこにとらわれてしまうのではなく、その先にある目指すものが共有されていれば前に進むことができます。「分かってない自分が意見していいのかな…」と引っ込めてしまうのではなく、それぞれが繕わない自分を表現して、そこから何が生まれるのかを面白がれることも大切です。

○大人になってもちゃんと勉強する

例えば、「子どもの権利」の話。なんだか難しくとっつきにくい印象、自分にはあまり関係ないなあ…とっていませんか？それは、私たちが権利を「自分が使えるもの」として習ってこなかったからです。大人こそ、学ぶことがたくさんあります。その姿勢をみて、子どもたちが「学ぶことって楽しいんだな」と思ってくれたらいいなと思います。ここでは、学びと実践がセットになっているので、みんな常に勉強し続けて、新しい考え方をとりいれています。